

# 広報 きずな

平成25年9月27日 発行  
編集発行  
芦北町社会福祉協議会  
熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-1  
(きずなの里内)  
TEL:0966-86-0294  
HP:<http://www.ashikita-shakyo.com>

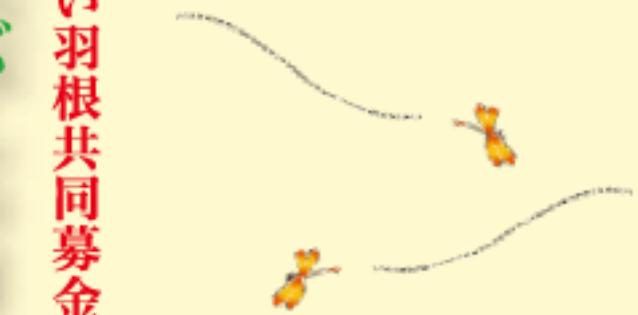


子どもふれあい教室 in 諏訪地区



傾聴ボランティア養成講座

じぶんの町をよくするしくみ  
赤い羽根共同募金



介護者のつどい

## 秋号の主な内容

- 小地域福祉活動事業
- 共同募金配分金事業
- デイサービス事業
- シルバー人材センターからのお知らせ
- 香典返し及び一般寄付
- 転倒骨折予防事業からのお知らせ
- もやいまつり など



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

災害をテーマに地域福祉を考える

## 災害図上訓練D-I-G

本会では、災害をテーマに災害時に起る課題の振り起しへと日々からの関係づくりが災害時に大切なのかを再確認し、情報の共か有化を図る災害図上訓練D-I-Gを実施しています。

今回、花西地区、益・小崎地区、白石地区にて実施しました。花西地区においては3回目の開催となり、前回と変化のあったところなどの再確認を行いました。益・小崎地区、白石地区は、今回初めて実施し、危険個所や災害時要援護者等の確認と情報の共有ができました。

災害図上訓練D-I-Gは、地圖上に危険個所や災害時に援護が必要な方などの情報を落としていき、情報の共有確認の作業を行います。

\*連絡先\*  
芦北町社会福祉協議会  
86-10294



## “憩う・集う・つながる”みんなのサロン



6月15日（土）ゆの華サロンにおいて芦北消防署の方を招いてAEDの使用方法と心肺蘇生法について学びました。芦北消防署の方々が持つてこられた人形やAEDに触れ、署形だけながら体験されました。

6月15日（土）ゆの華サロンにおいて芦北消防署の方を招いてAEDの使用方法と心肺蘇生法について学びました。芦北消防署の方々が持つてこられた人形やAEDに触れ、署形だけながら体験されました。

【湯北地区】  
『ゆの華サロン』

【計石地区】  
『緑がわサロン』  
【海浦地区】  
『さわやか』がおじやましました



7月18日（木）計石公民館において道西地区の立丸由美子氏の「指導のもと、七夕飾りづくりを行いました。「縁がわサロン」では、毎年七夕の時期に公民館前に七夕飾りを立てます。これに合わせ、海浦からも3名が飛び入り参加しました。「さわやか」も昨年度からサロン活動を始め、旧暦の七夕に公民館に七夕飾りを立てています。

参加者の皆さんには、立丸氏が教えての体験で難しいと思つた」「緊急時、お互いに助け合つた」など、参加動てきました。お互いに助け合つた「緊急時、お互いに助け合つた」などの感想が聞かれました。参加された皆さんにとって有意義なサロンになりました。



サロン活動とは、地域の公民館や集会所などを利用して地域の全ての住民を対象に誰もが気軽に参加し、地域の交流を深めるための活動です。

本会では、サロン活動をとおして地域福祉活動の活性化や地域住民同士の支え合いに結びつき、安心・安全な地域づくりを第一歩として一般会費を財源とし、サロン活動を推進する地域に助成金を支給しています。サロン活動をやってみたい、興味があるという地区は下記の連絡先までお問い合わせください。

\*連絡先\* 芦北町社会福祉協議会 地域福祉課 86-10294

## (3) 広報きずな

語り合つことで見えてくる課題  
地域福祉座談会

本会では、地域の現状を再確認し、地域福祉の向上を目的にひとりいき計画ネットワークの佐伯謙介氏を講師に招き、「地域福祉座談会」を実施しています。

IJの「地域福祉座談会」は、全2回で構成されており、1回目は「地域福祉に関する講話」と「地域で取り組んでいる」と・地域の困り」と・こんな」とあったら、できたらのアイデアについて、2回目は、1回目で考えられたアイデアをもとに「実際に取り組める支え合い活動」について、グループに分かれ、話し合いを行います。グループに分かれることで活発な意見交換ができ、地域の現状を見つめ直すいい機会になります。

\*お問い合わせ\*

芦北町社会福祉協議会

☎ 086-10294  
地域福祉課



地域福祉活動モデル事業（藤瀬地区）  
地域全体で取り組む  
健康づくり



7月6日（土）藤瀬公民館にて第1回の健康教室が開催され、地域在住の看護師等による講話や体操に汗を流しました。

この教室は、本会の地域福祉活動モデル事業を活用し、働き盛りの中高年が健康に意識を向け、体調管理と体づくりができるようにと推進員を中心に取り組まれています。

また、安否確認を目的とした「黄色い旗運動」を実施します。IJの運動は、同地区の全世帯を対象に元気な時は旗を外に出し、旗が出てない世帯は隣近所で安否確認の声かけを行うものです。

7月7日（日）市居原公民館にて推進員を中心地域の女性の方々とはげ饅頭づくりを実施されました。はげ饅頭は、半夏至（7月2日）7日）の時期に作り食べるという風習です。最近では、昔ながらの風習を行うことも少なくなってきましたが、同地区では、このはげ饅頭を全世帯に配布されました。当日、朝早くからはげ饅頭づくりに参加された方からは、「昔ながらの風習を守り、伝統的な食べ物を次の世代へつなげていけたら」との声も聞かれました。また、はげ饅頭をいただかれた方からは、「昔はよう作りよったばってん、今は作らんもんな。ありがと」などと喜ばれていました。

市居原地区  
はげ饅頭づくりでつながる  
人と人のきずな



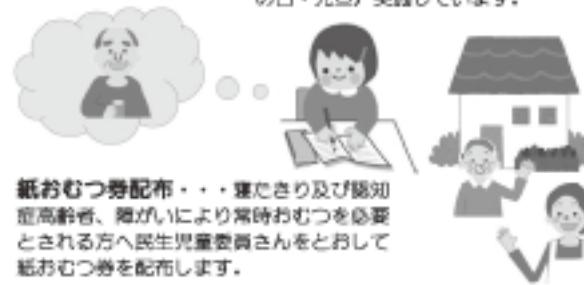
## 高齢者のために・・・

金婚夫婦お祝い・・・新聞社の金婚式の際に祝いの記念品を贈呈します。

本年度は、9月11日(水)に行われ、78組のご夫婦に記念品が贈呈されました。また、婚姻はされたが、残念ながらお二人で迎えることができなかつた方に対して「一人だけの金婚式」も平成21年度から実施しています。



お便り運動・・・高齢者と町内の小学生との心の交流を目的に年に2回(敬老の日・元旦)実施しています。



紙おむつ券配布・・・寝たきり及び認知症高齢者、障がいにより常時おむつが必要とされる方へ民生児童委員さんとおして紙おむつ券を配布します。

## 地域づくりのために・・・

### (助成事業)

地域“あれあいベンチ”設置事業・・・地域住民が集い、憩いの場や地域の幹を深める場所づくりを目的に実施します。



子どもの居場所づくり事業・・・子どもたちが安心して遊べる広場の整備や遊具の設置を目的に実施します。

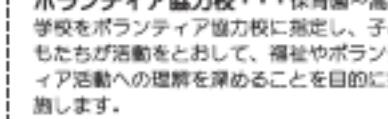


## ボランティア育成のために・・・

ボランティア養成講座・・・ボランティア活動の意義や役割を学び、地域での活動につなげることを目的に開催します。本年度は、災害と頑張についての養成講座を実施しました。



ボランティア協力校・・・保育園～高等学校をボランティア協力校に指定し、子どもたちが活動をとおして、福祉やボランティア活動への理解を深めることを目的に実施します。



## じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

今年も10月1日～12月31日まで全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されます。芦北町においても区長さんをとおして封筒募金という形で実施致します。また、戸別募金のほかに地域募金、企業募金、個人及び募金箱の設置による募金も受け付けています。

集まった募金の約70%は、芦北町に地域分配金として還元され、地域福祉サービスの充実のため様々な地域福祉活動に活用させていただいております。残りの30%は、広域的な課題を解決するために都道府県の範囲内で活用されています。

このページでは、芦北町で実施しております共同募金分配金事業の一部を紹介しております。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

## 在宅介護者のために・・・

介護者のつどい・・・在宅での介護者が一時に介護から離れることでリフレッシュを図り、介護者同士の交流を目的に年に4回実施します。

今回は、9月2日(月)に出水市の山門どうら園へバスハイクを実施し、園の里にて介護に関する意見交換を行いました。当日は、あいにくの雨でしたが、有意義な一日を過ごすことができました。



## 子どもたちのために・・・

子どもふれあい教室（世代間・地域間交流）

・・・保育園・幼稚園の園児と地域の高齢者との交流や小学生を対象に町内の良いところを再発見してもらうことを目的に実施します。8月1日(木)には、福岡地区の皆さんと一緒に抹茶を作ったり、佐賀縣神社の宮司さんよりお参りの仕方などを教わったりして交流を行いました。



こんにちは赤ちゃん運動・・・地域で安心して子育てができる環境を確保することを目的に実施します。



親と子の一日旅行・・・母子・父子家庭等(中学生以下)を対象に親子の交流はもちろん、対象世帯の相互の交流を図ることを目的に実施します。本年度の一日旅行については、下記のとおりです。

開催日：平成25年11月10日(日)

場所：阿蘇ファームランド(元気の森)

定員：75名

申込み締切：平成25年10月11日(金)

\*連絡先\*

芦北町社会福祉協議会 地域福祉課 Tel: 86-0294

\*申し込み締切前でも定員になりましたら、受付を終了させていただきますのでご理解いただけますようお願いします。

## 芦北町全体の福祉の活性化のために・・・



福祉スポーツ大会・・・町内の福祉施設・団体が一堂に会し、スポーツやレクリエーションをとおして健康の増進と融和を図ることを目的に開催します。本年度は、10月3日(木)に開催されます。ぜひ、ご近所お誘い合わせのうえ応援に来ていただければと思います。



福祉・介護チャレンジ教室

・・・地域住民や高校生が福祉・介護の現場で働く人達から、福祉・介護に対する考え方や思いに触れるとともに、基本的な介護動作を体験することで、福祉・介護サービスの意義や重要性を理解してもらうことを目的に実施します。





## きずなの里ティーサービスの夏祭り



～竹そうめん流しで涼をとる～



7月31日(水) きずなの里ティーサービスにて夏祭りを実施しました。

当日の昼食メニューはそうめん・天ぷら・焼き鳥でそうめんは職員力作の竹で作ったそうめん流しを使って涼を感じながらいただきました。天ぷらや焼き鳥も非常に喜ばれ、男性利用者の皆さんには、いつもに増して食欲がありました。福祉体験学習に来ていた中学生も暑い中、一生懸命焼き鳥を焼いて、利用者の皆さんのもとに運んでいました。おやつの時間には、夏祭りの定番のかき氷やタコ焼きに舌鼓を打ち、夏祭りを体感する楽しい一日となりました。



## 八幡荘・きずなの里ティーサービス合同ぶどう狩り ～美味しいぶどうの見分け方を伝授～



8月27、28日に八幡荘・きずなの里合同で出水市の山門ぶどう園に秋の味覚、ぶどうを一足早く食べに行ってきました。

当日は、ボランティアの方も参加され、絶好のぶどう狩り日和の中、よく冷えたぶどうと美味しいお弁当をいただきました。昼食後には、利用者さんから歌や踊りもでて大変賑わいました。ぶどう狩りをされた利用者さんは、ぶどう園のスタッフから美味しいぶどうの見分け方を伝授され、真剣にぶどう選びをされていました。

楽しい一日を過ごすことができ、最後はスタッフの皆さんに見送られ、「来年もまた来るね」と心に誓いながら、ぶどう園をあとにしました。



元気に毎日を送ってくださいね！

来年もお待ちしています!!





ご案内

# 女性のための一度は聞きたい講習会!!

ひとりで気にしていませんか？

お悩みごとが解決に繋がるかもしれません。

開催日：平成25年10月15日（火）

時間（場所）：午前10:00～11:30（田浦福祉センター）

午後 1:30～3:00（きずなの里）

内 容：女性特有の病気について

（尿失禁、骨盤臓器脱、筋力低下の予防運動）

講 師：熊本県厚生農業協同組合連合会

対象者：女性限定（年齢は問いません）

受講料：無 料

申込方法：平成25年10月11日（金）までにハ幡荘内 予防推進課

介護予防係へお電話にてお申し込み下さい。（☎87-0294）

※当日は、運動のできる服装でご参加ください。

## もやいまつり

日時：11月17日（日） 9:30～15:00

バザー・ステージ・講演会・

一人だけの金婚式など・・・

詳細は

10月下旬チラシにて公開!!

受付中 一人だけの金婚式（共同募金配分金事業）

芦北町社会福祉協議会では、結婚後50年を夫婦揃って迎えることができなかつた方を表彰し、これまでの労をねぎらい、高齢者福祉の推進を図ることを目的に一人だけの金婚式を実施します。下記の要件を満たす方は芦北町社会福祉協議会まで連絡をお願いいたします。

- 【要件】①昭和38年1月1日から12月31日の間に婚姻の事実が認められる方で現在配偶者がおられない方。
- ②死別、生別は問いません。
- ③再婚者の場合は再婚した日を基準とし、①に該当する方。
- ④町内に1年以上在住されている方。

【締切】平成25年10月11日（金）

【お問い合わせ先】

芦北町社会福祉協議会 地域福祉課 TEL: 86-0294